

**第1問** 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。

A オリент世界は乾燥した気候であったが、ティグリス・ユーフラテス川流域の①メソポタミアとナイル川流域の②エジプトでは、大河の沿岸に都市が成立し、はやくから灌漑農業が営まれていた。両地域では、大河の氾濫に備えた治水・灌漑事業を遂行するために、王が神やその代理人として君臨する神権政治をおこなう専制国家が出現した。

前13～12世紀頃のオリентは民族移動が激しくなり、「海の民」とよばれる集団の襲来により東地中海地域が混乱に陥った。一方、陸海交易の要衝であるシリア・パレスチナ地方では、③セム語系諸民族の活動が活発化し、後世に文化的な遺産を残した。

前7世紀前半には、アッシリアが鉄製武器や騎兵隊・戦車などの強大な軍事力により全オリентを統一した。しかし、強制移住や重税をとまなう過酷な統治は服属民の反乱を招き、帝国は短期間で滅亡した。④アッシリア崩壊後のオリент世界には4つの王国が分立した。

**問1** 下線部①に関連して、この地域の諸民族について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

1

- ① シュメール人は、都市の神をまつたジググラト(聖塔)を建設し、楔形文字を粘土板に刻んで使用した。
- ② アッカド人はインド＝ヨーロッパ語系の民族であり、初めてメソポタミアを統一した。
- ③ バビロン第1王朝で制定されたハンムラビ法典は、同害復讐法の原則により身分による差別を否定した。
- ④ ヒッタイト人はアナトリア(小アジア)からメソポタミアに遠征したが、バビロン第1王朝に敗北した。

問2 下線部②について述べた次の文中の空欄 **ア** **イ** に入る語の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

エジプトの宗教は多神教であり、太陽などの自然物や動植物などを崇拝対象とするものであった。しかし、新王国のアメンホテプ4世の治世では例外的に、唯一神 **ア** の信仰を強制する宗教改革がおこなわれた。

エジプトの文字は絵文字から発展した神聖文字(ヒエログリフ)が使用され、石碑・神殿・墓室などに刻まれた。神聖文字は、ナポレオンのエジプト遠征の際に発見されたロゼッタ＝ストーンを手がかりに **イ** が解読した。

- ① **ア**－アモン＝ラー      **イ**－シャンポリオン
- ② **ア**－アトン              **イ**－ローリンソン
- ③ **ア**－アモン＝ラー      **イ**－ローリンソン
- ④ **ア**－アトン              **イ**－シャンポリオン

問3 下線部③に関する文 **a** と **b** の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **3**

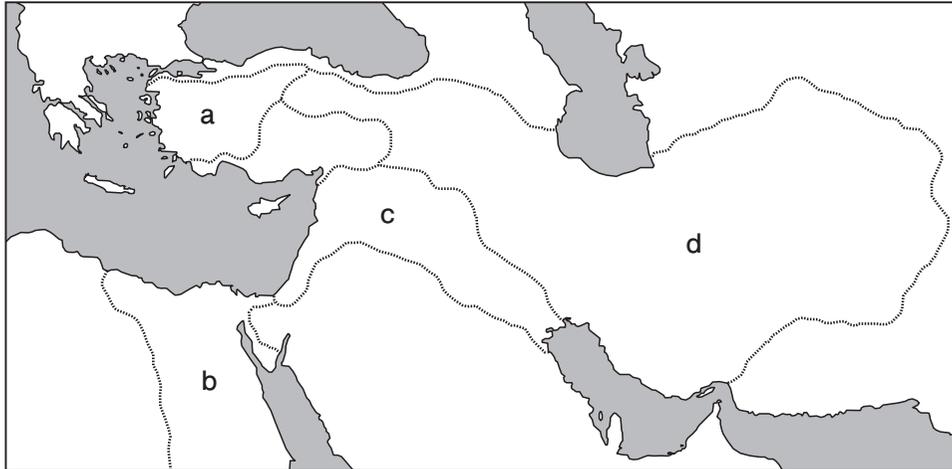
**a** アラム人は、ダマスカスを拠点に内陸中継交易をおこない、アラム文字は東方の諸民族の文字の母体となった。

**b** ヘブライ人(ユダヤ人)は、一神教のユダヤ教を確立し、のちのゾロアスター教やキリスト教に影響を与えた。

- ① **a**－正      **b**－正                      ② **a**－正      **b**－誤
- ③ **a**－誤      **b**－正                      ④ **a**－誤      **b**－誤

問4 下線部④に関連して、地図上で示されたa～dの4王国で起こった出来事について述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

4



- ① aでは世界最古の紙幣が使用された。
- ② bではこの時代に多くのピラミッドが建設された。
- ③ cはユダ王国を征服し、その住民の多くをバビロンに連れ去った。
- ④ dはニネヴェを首都とし、大図書館を建設した。

B 前6世紀半ば、イラン人(ペルシア人)がおこしたアケメネス朝がオリエント世界を再統一した。最盛期のダレイオス1世は、西はエーゲ海北岸から東は **ウ** にいたる広大な領域を支配した。各州にサトラップ(知事)をおいて中央集権化をはかり、行政の中心都市である **エ** からアナトリア(小アジア)のサルデスの間に「王の道」とよばれる公道を設けて駅伝制をしくなど交通網も整備された。アケメネス朝は、服属した諸民族の宗教や慣習を尊重する寛大な統治をおこなったが、前5世紀前半のイオニア諸都市の反乱を機にギリシア人との戦争が勃発した。その後は地方勢力の離反が続き、前330年にマケドニアのアレクサンドロスによってアケメネス朝は滅ぼされた。

アレクサンドロス帝国の成立はオリエントに多くのギリシア人の入植をうながし、東西の融合文化である<sup>⑤</sup>ヘレニズム文化が生み出される契機となった。アレクサンドロスの死後、メソポタミアやイランを含む領土はギリシア系の **オ** が継承したが、前3世紀半ばにはギリシア系のバクトリアとイラン系の<sup>⑥</sup>パルティアが分離独立した。

問5 空欄 **ウ** **エ** に入る語の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **5**

- ① ウーガンジス川 エースサ
- ② ウーインダス川 エーペルセポリス
- ③ ウーガンジス川 エーペルセポリス
- ④ ウーインダス川 エースサ

問6 下線部⑤について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **6**

- ① アレクサンドリアに設立されたアズハル学院では、自然科学が研究された。
- ② アテネに建てられたパルテノン神殿は、ヘレニズム時代の代表的建築である。
- ③ ガンダーラ地方で形成された仏教美術にも影響を与えた。
- ④ 精神の平安を最高の快樂とするストア派の哲学が盛んになった。



**第2問** 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。

A ①ゲルマン人の大移動による混乱の中、476年に西ローマ帝国はゲルマン人傭兵隊長オドアケルによって滅亡した。6世紀にビザンツ(東ローマ)帝国の西ヨーロッパへの勢力拡大が進むと、②ローマ教会は修道士らを派遣してゲルマン人に積極的にカトリックを布教し、教皇の影響力の強化を目指した。8世紀にビザンツ皇帝レオン3世が聖像禁止令を發布すると、ローマ教会は強く反発し、東西教会の対立がさらに激化した。ローマ教会は、政治上の保護者としての役割をフランク王国に求め、800年に③カール大帝に帝冠を受け、西ローマ帝国を理念的に復活させてビザンツ帝国に対抗した。しかしカールの死後の相続争いにより、④王国は3国に分裂した。

**問1** 下線部①に関連して、ゲルマン諸族とその移動後の建国地の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

	ゲルマン諸族		移動後の建国地
①	西ゴート人	-	イタリア半島
②	東ゴート人	-	イベリア半島
③	ヴァンダル人	-	北アフリカ
④	アングロ=サクソン人	-	シチリア島

**問2** 下線部②に関連して、教皇グレゴリウス1世がアングロ=サクソン人への布教のために派遣した修道士らが所属していた修道会として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ① フランチェスコ修道会 | ② ベネディクト修道会 |
| ③ シトー修道会     | ④ ドミニコ修道会   |

問3 下線部③について述べた次の文中の空欄 **ア** **イ** に入る語の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **11**

カール大帝は、イタリア半島のランゴバルド王国を滅ぼし、北方のザクセン人を服属させ、大陸部のゲルマン諸族を統合した。さらに東方から侵入してきた遊牧民の **ア** を撃退し、イペリア半島ではイスラーム勢力とも戦った。また、全国の州に伯を任命し、巡察使によって伯を監視させることで集権的支配を目指した。文化面では、神学者の **イ** らを宮廷に招いてカロリング＝ルネサンスと呼ばれる古典文化の復興運動に努めた。

- ① **ア**－マジヤール人      **イ**－トマス＝アキナス
- ② **ア**－マジヤール人      **イ**－アルクイン
- ③ **ア**－アヴァール人      **イ**－トマス＝アキナス
- ④ **ア**－アヴァール人      **イ**－アルクイン

問4 下線部④に関連して、のちにこの3国で起こった出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲが、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **12**

- Ⅰ ドイツ（神聖ローマ帝国）で、事実上皇帝が不在の「大空位時代」が生じた。
- Ⅱ フランス王のフィリップ4世は、初の三部会を招集した。
- Ⅲ イタリアのカノッサで、皇帝ハインリヒ4世が教皇に謝罪した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ                      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ                      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ                      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ                      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

B 東ヨーロッパ世界は、ゲルマン人の大移動による打撃は受けず、都市や貨幣経済が繁栄を続けていた。ビザンツ（東ローマ）帝国は、ギリシア正教とギリシア古典文化が融合した独自の文化的世界を形成し、首都コンスタンティノープルは東地中海地域の中心として繁栄した。しかしユスティニアヌス大帝の死後、イタリア半島を失い、スラヴ人やトルコ系のブルガール人の建国、ムスリムの進出などで領土を縮小させていった。ウにアナトリア（小アジア）を奪われたビザンツ帝国の救援要請により、西ヨーロッパ諸国から十字軍が派遣されたが、エ商人が輸送を担当した第4回十字軍によって一時コンスタンティノープルを占領されるという事態に陥った。その後も、ビザンツ帝国の国力回復は進まず、1453年にオスマン帝国によって滅ぼされた。

問5 下線部⑤について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

13

- ① ギリシア人が建設した植民市のマッサリアがこの都市の起源となった。
- ② この都市の名の由来となったローマ皇帝は、ミラノ勅令を發布した。
- ③ オスマン帝国のスレイマン1世がこの都市を陥落させた。
- ④ のちにイスタンブルと呼ばれ、ムスタファ＝ケマルがトルコ共和国の首都とした。

問6 下線部⑥に関する文aとbの正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

14

- a ヴァンダル王国と東ゴート王国を滅ぼして地中海世界を回復した。
- b ササン朝最盛期の王のシャープール1世と抗争し、和平を締結した。

- ① a - 正      b - 正                      ② a - 正      b - 誤
- ③ a - 誤      b - 正                      ④ a - 誤      b - 誤

問7 下線部⑦に関連して、スラヴ人やブルガール人が建国した国家について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① モスクワ大公国のウラディミル1世は「ツァーリ（皇帝）」と自称した。
- ② チェック人が建てたベーメン（ボヘミア）王国は、のちに神聖ローマ帝国に編入された。
- ③ リトアニア＝ポーランド王国（ヤゲウォ朝）は、ドイツ騎士団を撃破した。
- ④ ブルガリア王国（帝国）は、ギリシア正教に改宗し、キリル文字を使用するようになった。

問8 空欄 ウ エ に入る語の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① ウーアイユーブ朝      エージェノヴァ
- ② ウーアイユーブ朝      エーヴェネツィア
- ③ ウーセルジューク朝    エージェノヴァ
- ④ ウーセルジューク朝    エーヴェネツィア

**第3問** 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。

A 約350年にわたって諸部族が抗争する時代が続いていたモンゴル高原は、13世紀初めにモンゴル部族によって統一された。君主のチンギス=ハンは騎馬軍を率いて内陸アジアにまで支配領域を拡大した。チンギス=ハンの死後もその後継者たちが征服活動を続け、西方には3つのハン国が、東方には元が建国され、ユーラシア大陸の東西にまたがる空前の大帝国に発展した。モンゴル帝国内では交通路の整備や貿易振興策が進められ、駅伝制が整備され、人やモノが行き交い、経済・文化の広域的な交流が進んだ。

**問1** 下線部①に関連して、次の年表に示したa～dの時期のうち、ハイドゥの乱が始まった時期として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

17

a

1241年 ワールシュタットの戦いでドイツ・ポーランド連合軍に勝利

b

1258年 バグダードを占領してアッバース朝を滅ぼす

c

1276年 臨安を占領して南宋を滅ぼす

d

- ① a                      ② b                      ③ c                      ④ d

**問2** 下線部②に関連して、元の政治・経済・社会について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① かつての金の統治下の住民は色目人と呼ばれ、財務官僚として重用された。  
② 銀の補助通貨として交子と呼ばれる紙幣が使用された。  
③ チベット仏教を保護したが、寺院建立などの費用が財政難の一因となった。  
④ 白蓮教徒らが起こした黄巾の乱が滅亡のきっかけとなった。

問3 下線部③に関連して、元代に中国を訪れた人物の説明として正しいものを、  
次の①～④のうちから一つ選べ。

19

- ① フビライに仕えたマルコ＝ポーロは、のちに『三大陸周遊記(旅行記)』を残した。
- ② イブン＝バットゥータは、『世界の記述(東方見聞録)』の中で当時の中国の記録を残した。
- ③ マテオ＝リッチは元の宮廷に入り、中国初の世界地図「坤輿万国全図」を作成した。
- ④ モンテ＝コルヴィノは大都で大司教となり、中国最初のカトリック布教者として活躍した。

問4 下線部④に関する文aとbの正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

20

- a 元の郭守敬が作成した授時暦は、イスラーム暦法の影響を受けている。
- b イランで発達した細密画(ミニアチュール)は、中国絵画の影響を受けている。

- ① a - 正      b - 正                      ② a - 正      b - 誤
- ③ a - 誤      b - 正                      ④ a - 誤      b - 誤

B モンゴル帝国の崩壊後、中国内地では漢人王朝である明が成立した。建国者の洪武帝は **ア** によって末端の農民まで支配する体制を整えるなど、国内の統治を確立することを重視した。永楽帝の時代になると、鄭和の南海諸国への遠征がおこなわれ、⑤ 周辺地域と朝貢関係を結んで東アジアの国際秩序を再建することが本格的に目指された。しかし16世紀以降、国際貿易がさかんになると、明の貿易規制を破って利益を得ようとする諸民族の動きが活発化し、中国東北地方では満州人(女真)が台頭した。満州人が建てた清は、**イ** の反乱軍によって明が滅亡したのを機に、北京を占領して中国本土の支配を開始した。その後⑥ 康熙帝・雍正帝・乾隆帝と三代の有能な皇帝が続き、モンゴル・チベット・東トルキスタンなどの内陸部にまで勢力を拡大し、今日の中国の領土の原型を築き上げた。

問5 空欄 **ア** に入る語として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **21**

- ① 均田制      ② 里甲制      ③ 青苗法      ④ 一条鞭法

問6 下線部⑤に関連して、明と周辺地域の関係について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **22**

- ① 琉球王国は明に朝貢したが、17世紀以降は日中両属体制となった。  
② 室町幕府の足利義満は、明から「日本国王」として封じられた。  
③ 明はオイラトとの朝貢関係を否定し、土木の変でエセン＝ハンを捕虜とした。  
④ マレー半島南西部のマラッカ王国は、鄭和の遠征艦隊の基地となった。

問7 空欄 **イ** に入る語として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **23**

- ① 李自成      ② 李成桂      ③ 李世民      ④ 李舜臣

問8 下線部⑥に関連して、康熙帝・雍正帝・乾隆帝の治世の出来事について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

24

- ① 康熙帝は、漢人武将による三藩の乱を鎮圧した。
- ② 康熙帝は、鄭氏一族を降伏させて台湾を直轄地とした。
- ③ 雍正帝は、ネルチンスク条約でロシアとの国境を画定した。
- ④ 乾隆帝は、ヨーロッパ船の来航を広州一港に限定した。

**第4問** 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。

A 18世紀半ば、ヨーロッパにおける戦争と並行してイギリス・フランス両国は北アメリカとインドにおいて植民地争いを繰り上げた<sup>①</sup>。イギリスは両地域でフランスに勝利し、広大な植民地を得た。こうして製品市場を獲得したことは、当時勃興しつつあった木綿工業における機械化を促進させることとなり、1760年代以降、機械の発明が相次いだ<sup>②</sup>。こうしてイギリスは世界史上初めて産業革命を実現し、圧倒的な工業力を持ったイギリスはのちに「世界の工場」といわれた。また、このような工業発展は、原料・製品の運搬手段にも大きな変革をもたらした<sup>④</sup>。

**問1** 下線部①に関連して、イギリス・フランス両国のインドにおける植民地争いについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

25

- ① イギリスは、プラッシーの戦いでフランスに勝利した。
- ② イギリスのベンガル地方における拠点は、カルカッタであった。
- ③ フランスは、マイソール戦争でイギリスに敗れた。
- ④ フランスの南インドにおける拠点は、ポンディシエリであった。

**問2** 下線部②に関連して、イギリスにおける機械の発明について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① ハーグリーブズの発明したジェニー紡績機(多軸紡績機)により、綿糸の生産が効率化した。
- ② ワットの改良した蒸気機関は、機械の動力に用いられた。
- ③ カートライトの発明した力織機は、その後の織物生産の主力となった。
- ④ ホイットニーの発明した綿繰り機により、織布の生産量が倍化した。

問3 下線部③に関連して、産業革命がおこった当時のイギリスについて述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 第一次囲い込みの進行によって、失地農が生じていた。
- ② 絹織物工業において、工場制手工業が発達していた。
- ③ 商工業が発達しており、民間に資本蓄積が見られた。
- ④ アルザス・ロレーヌ地方で、鉄鉱石と石炭を豊富に産出した。

問4 下線部④について述べた次の文中の空欄 ア イ に入る語の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 28

産業革命の初期には、主に運河が原料や製品の輸送手段として使われていたが、産業部門における機械化は、動力革命と相まって交通革命に発展した。  
ア は1825年、蒸気機関車に客、貨物を引かせる実験を行い成功した。1830年には イ において初の営業用鉄道が開通し、物資だけでなく人のスピーディーかつ大量の輸送が可能となった。

- ① ア—スティーヴンソン イ—マンチェスター、リヴァプール間
- ② ア—フルトン イ—マンチェスター、リヴァプール間
- ③ ア—スティーヴンソン イ—ストックトン、ダーリントン間
- ④ ア—フルトン イ—ストックトン、ダーリントン間

B 1770年代から1820年代にかけて、大西洋を挟んだアメリカ大陸とヨーロッパにおいて連鎖的に革命運動が起こった。イギリスの13植民地では本国の重商主義的<sup>⑤</sup>の圧迫が強まる中でアメリカ独立革命<sup>⑥</sup>が起こった。有力な絶対王政国家フランスでは、アメリカ独立革命の援助などにより王室の財政は行き詰まり、国王は改革を余儀なくされた。これに抵抗する特権身分が三部会の開催を要求したことに端を発し、フランス革命<sup>⑦</sup>が起こると、その後のナポレオン戦争などの影響もあって、共和主義思想<sup>⑧</sup>が各地に広がった。ナポレオンがスペイン本国を占領すると、その植民地である中南米の各地では独立運動が連続して起こった。

問5 下線部⑤について、イギリスの13植民地に含まれる地域として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

29

- ① ルイジアナ
- ② ケベック
- ③ カリフォルニア
- ④ ペンシルヴェニア

問6 下線部⑥に関連して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

30

- ① イギリス本国の制定した印紙法に対し、植民地側は「代表なくして課税なし」と抵抗した。
- ② 独立宣言は、ジェファソンらによって起草され、その内容にはロックの思想の影響がうかがえる。
- ③ レキシントンの戦いで、アメリカ・フランス連合軍が勝利した。
- ④ パリ条約で、イギリスはアメリカ合衆国の独立を承認した。

問7 下線部⑦について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

31

- ① 立法議会の下で、1793年憲法が制定された。
- ② 総裁政府の下で、ナポレオンはエジプト遠征をおこなった。
- ③ ジャコバン派のロベスピエールは、ブリュメール18日のクーデタで失脚した。
- ④ ジロンド派のラ＝ファイエットは、『第三身分とは何か』を著した。

問8 下線部⑧に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① シモン＝ボリバルは、ハイチの独立運動で活躍した。
- ② サン＝マルティンは、アルゼンチンの独立に尽力した。
- ③ ラテンアメリカ生まれの白人であるメスティーソが、独立運動の主体となった。
- ④ 現地のインディオに、スペイン人のもたらしたプロテスタントが広がった。

**第5問** 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。

A 総力戦となった第一次世界大戦は、1600万人ともいわれる大規模の死者を出すことになった。1918年11月、ドイツの敗戦により戦争が終わると、翌年1月から①パリ講和会議が開催され②国際協調の機運が高まった。だが、1929年10月にアメリカで発生した株価の大暴落を皮切りとして世界恐慌が起こると、国際協調の雰囲気は一変し、③植民地・資源を「持てる国」と「持たざる国」の対立が生じた。その結果、1939年には第二次世界大戦が勃発することとなり、④両大戦間期はわずか20年で幕を閉じた。

**問1** 下線部①に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

33

- ① ドイツは、一切の軍備を禁止された。
- ② ダンツィヒは、国際連盟管理下の自由市とすることが定められた。
- ③ 連合国は、オーストリアとトリアノン条約を締結した。
- ④ イラク・トランスヨルダン・パレスチナは、フランスの委任統治領となった。

問2 下線部②に関連して、国際協調の高まりの中で起こった出来事の順序が正しく並べられているものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

34

- ① 国際連盟が発足する → ロカルノ条約が結ばれる  
→ ワシントン会議が開催される → ブриан・ケロッグ条約が締結される
- ② 国際連盟が発足する → ロカルノ条約が結ばれる  
→ ケロッグ-ブリアン協定が締結される → ワシントン会議が開催される
- ③ 国際連盟が発足する → ブリアン・ケロッグ条約が締結される  
→ ワシントン会議が開催される → ロカルノ条約が結ばれる
- ④ 国際連盟が発足する → ブリアン・ケロッグ条約が締結される  
→ ロカルノ条約が結ばれる → ワシントン会議が開催される
- ⑤ 国際連盟が発足する → ワシントン会議が開催される  
→ ロカルノ条約が結ばれる → ブリアン・ケロッグ条約が締結される
- ⑥ 国際連盟が発足する → ワシントン会議が開催される  
→ ブリアン・ケロッグ条約が締結される → ロカルノ条約が結ばれる

問3 下線部③に関連して、当時植民地を領有した国家と、その植民地支配を受けた地域の名称の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

35

植民地を領有した国		植民地支配を受けた地域
① イギリス	-	タヒチ
② イタリア	-	リビア(トリポリ・キレナイカ)
③ ポルトガル	-	コンゴ
④ フランス	-	ビルマ(ミャンマー)

問4 下線部④に関連して、両大戦間期の中国について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

36

- ① 第一次世界大戦後の中国では、汪兆銘を中心に中国共産党が結成された。
- ② 第一次世界大戦後の中国では、孫文の指導下に五・三〇事件が起こった。
- ③ 日中戦争が始まった当時、国民政府の所在地は広州に置かれていた。
- ④ 張学良らによって、蔣介石が監禁される西安事件が引き起こされた。

B 1933年にヒトラー内閣が成立すると、全権委任法が制定されナチ党の一党独裁となった。翌年、**ア** 大統領の死去により、ヒトラーは総統(フューラー)となり自ら率いるドイツを第三帝国と称した。35年に再軍備宣言を行い、ヴェルサイユ体制からの離脱が現実となり、ヨーロッパには戦争勃発の雰囲気が高まることとなった。この中で、各国はドイツに対する対抗策を打ち出し、イギリス・フランス・イタリアは連携して協力体制を模索したが間もなく崩壊した。フランスはソ連と相互援助条約を結び、**イ** は第7回大会を開催して反ファシズム人民戦線の結成を訴えた。36年にスペイン内戦が勃発すると、これを契機にファシズム諸国は結束を強めていった。<sup>⑤</sup><sup>⑥</sup>

問5 空欄 **ア** **イ** に入る語の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 37

- ① **ア**－ヒンデンブルク      **イ**－コミンテルン
- ② **ア**－シュトレゼマン      **イ**－コミンテルン
- ③ **ア**－ヒンデンブルク      **イ**－コミンフォルム
- ④ **ア**－シュトレゼマン      **イ**－コミンフォルム

問6 下線部<sup>⑤</sup>に関する文 **a** と **b** の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 38

- a** 人民戦線を指揮するフランコ將軍の反乱によって始まった。
- b** アメリカの作家ヘミングウェイは、人民戦線側を支援するため義勇軍に参加した。

- ① **a**－正      **b**－正                      ② **a**－正      **b**－誤
- ③ **a**－誤      **b**－正                      ④ **a**－誤      **b**－誤

問7 下線部⑤に関連して、次に掲げた絵画はスペイン内戦で起こった出来事を題材に描かれたものである。

※図版は、著作権の関係で掲載を見合わせております。

この絵に関連して述べた次の文中の空欄 **ウ** **エ** に入るものの組み合わせとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **39**

この絵画は、 **ウ** の画家ピカソによって描かれた「ゲルニカ」である。題材となったのは、スペイン北部、バスク地方の都市ゲルニカに対して、反乱軍を支援するドイツによって行われた史上初の都市に対する無差別爆撃である。こうした他国の介入もあり、内戦が混乱を極める中で、 **エ** 最終的には反乱軍側が1939年マドリードを陥落させ勝利した。

	ウ	エ
①	印象派	イギリスとフランスは不干渉政策を採り、
②	印象派	独ソ不可侵条約を締結したソ連もドイツと共に反乱軍を支援し、
③	立体派(キュビズム)	イギリスとフランスは不干渉政策を採り、
④	立体派(キュビズム)	独ソ不可侵条約を締結したソ連もドイツと共に反乱軍を支援し、
⑤	ロマン主義	イギリスとフランスは不干渉政策を採り、
⑥	ロマン主義	独ソ不可侵条約を締結したソ連もドイツと共に反乱軍を支援し、

問8 下線部⑥に関連して、これらのファシズム諸国の1930年代における対外政策について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

40

- ① ドイツはミュンヘン協定により、ズデーテン地方を獲得した。
- ② イタリアはエチオピアに侵攻し、その地を併合した。
- ③ 日本・ドイツ・イタリアは、国際連盟から脱退した。
- ④ 日本・ドイツ・イタリアは、日独伊三国同盟を結んだ。

世界史の問題はここまでです。

世界史 解答例

第1問	解答番号	解答
問1	1	①
問2	2	④
問3	3	②
問4	4	③
問5	5	④
問6	6	③
問7	7	①
問8	8	②

第4問	解答番号	解答
問1	25	③
問2	26	④
問3	27	③
問4	28	①
問5	29	④
問6	30	③
問7	31	②
問8	32	②

第2問	解答番号	解答
問1	9	③
問2	10	②
問3	11	④
問4	12	⑤
問5	13	②
問6	14	②
問7	15	①
問8	16	④

第5問	解答番号	解答
問1	33	②
問2	34	⑤
問3	35	②
問4	36	④
問5	37	①
問6	38	③
問7	39	③
問8	40	④

第3問	解答番号	解答
問1	17	③
問2	18	③
問3	19	④
問4	20	①
問5	21	②
問6	22	③
問7	23	①
問8	24	③